

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立片岡小学校

【取組内容①】4年国語 冬の言葉を使ってかるたをつくろう

【実践の目的】

俳句を作成するにあたり、アプリケーションを活用した。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して、成文までの思考手順を身に付けさせることをねらいとした。

【実践内容】

- ・Googleジャムボードを共有し、共同作業で言葉の収集・分類を行う。
- ・グループ活動を通して思考してきた手順を生かし、学習支援ソフトを使って自分の思いを表せる言葉を広げていく。
- ・ICTだけでなく言葉集めのツールとして書籍を用意しておく。

【使用したアプリ】

Googleジャムボード
学習支援ソフト

【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- ・Googleジャムボードは、加除筆や編集、他のグループの意見の参照、グループ内の対話が簡単にできるという点から、言葉を集めたり分類したりするのに最適と感じた。
- ・ICTだけでなく言葉集めのツールとして書籍を用意しておくことで、個に応じた学びができた。
- ・学習支援ソフトでウェビングをさせたことで、次時の活動でスムーズに自分の思いを反映した句を作ることができた。

